

「利根川水系鬼怒川河川整備計画（原案）」に対する公聴会

日 時：平成28年1月17日（日）14:00～14:20

会 場：①国土交通省関東地方整備局下館河川事務所

発言者：公述人 5

私は茨城県の坂東市から来ました、今3番目に話のあった■■の弟です。我が家は農業をやっている、私は一人でやっているものですから、余裕があるので今回、出させて顶きました。

それで、始めます。私はですね、9月の10日の朝6時半頃NHKのテレビをつけました。そしたら、若宮戸で越水があるというのを中継していたんですね。ああいう若宮戸を何故NHKが取材に来ていたのかな。非常に疑問を感じてました。どこから情報が行ってあそこに取材に来てたんだか知りませんが、私はその若宮戸の農家のハウスの映像が映ってたんで、場所はすぐに判りました。それで兄貴の家がすぐ近く、ソーラーパネルのすぐ傍ですので、兄貴の家が潜っちゃうんだろうなという思いでテレビは見ていました。その後ですね、雨も小降りになったんですかね、あの日は、少しはね。それで、10時頃ですね、家を出まして、対岸の鬼怒川の西側の方から、大形橋っていう所わかりますかね。その所まで来まして、それからずっと若宮戸の方、下流の方に向かって車で行ったんです。そうしたら土手の下1m50cm～2m位まで水がありましてね、すごい勢いで水が流れていたんです。ですから、たぶん兄貴の家はもう流されて無くなってんじゃないかなというふうに、兄貴も死んでんのかなという思いでいました。

それで一般論として良く話は聞くんですが、鬼怒川の東京側は高く作ってあって、東側は、水海道の石下の街よりですね、そちら側は低く作ってあるんだと。それで、大水の時にはそちらを犠牲にして東京側を助けるんだと。いった話を聞くんですが、先程の初めの人の映像にもありましたけども、多少そういうものがあるんじゃないかなと思っております。ですから、これは間違いなく水害が起きたらそういうことができるという想定でたぶん作ってあるんでしょう。それで朝6時半、6時半ていうか、若宮戸で溢水が始まって、その後1時50分でしたか、三坂の方で切れましたですね、土手が。それで若宮戸から報道陣は全て三坂の方に行っちゃいましたんで、若宮戸の中継等はほとんどなくなったですね。10日の日に兄貴が家に2時か2時半頃、やっとたどり着いたと言って車で帰ってきたんです。それで私もああ良かったなあと思っていたんですが、その日には家の方に行きませんでしたので、次の日に兄貴の住まいの所に行ったら、家の中は砂だらけ、ゴミだらけ、庭はゴミの山。後で片付けたら、軽トラで約20台ほどゴミとして捨てました。こんな大変な思い、国土交通省の人は誰かボランティアでも来られたとか、すぐに見に行ったら手伝ったとか、した人がいるんでしょうかね。他人事なんだろうね、たぶん。そういうその人間性を疑うような事だと私は思うんです。これは凄いことなんですよ。まだ、たぶん他人事だと思ってます。たぶんですよ、私は聞いてないから分かんないけど。返事もないし。これは人間としては非常に。私は農家ですから、ものをつくる、野菜を愛情かけるかけただけの答えは返ってくるんです。でもこういう人たちはよ、はっきり言って、そういう自分のこう言う思いでこうやればいいんだ、ああやればいいんだ、それで、それに対して従えという発想でしょうから。私は何も言いません。

それから、あの日刊スポーツでこういう記事を見たことがあります。これはですね11日の日だと思うん

ですが、私が兄貴の家に行ったときにですね、日刊スポーツの記者の方がいたんですね。それでおもしろいこと、取材の種があるから来なさいよと言って私が呼んでいったものなんです。それでその時に、先程兄貴が言ったように、いろんなそのテレビ局や、何かに話したら後できます後できますって、誰も来ませんでした。その方だけが来て取材してくれたのがこの記事なんです。この中にも書いてありますけども、隣接の吉原市長はこれは人災だと、はっきりこれで載っているんですね。この記事に。それとこの間の昨年の12月20日の被害者大会の集会の時にも、吉原市長が来まして、その時に、去年の7月でしたかね、国土交通省に行ったときに、ドローンで撮影した写真を持っているんで、こういうふう以太陽光パネルをやって被害が起きたときに誰が責任とるんだということを話してきましたと、皆さんの前で言ったと思うんです。まさしくこれが起こったことなんですよ。誰がそれでごめんなさいも、何も謝罪もなければ、何もない。私らは間違っていないんだと。そういう発想ですよ。これ絶対おかしい。人間としておかしい。大学時代、大学院を卒業して優秀な成績で卒業した方でしょう、たぶん、ね。だけれども、世の中には、私はよく言うんですよ、10人いたならば1人か2人は世の中を動かす人、いろんな計画をしたり何かしながら動かす人、その他で、その次の6人はそれに従う人、それからその残りの2人はどうにもならない人。わかりますよね、どうにもならないっていうのは。上にも従わない、勝手なことをやっている。それで金だけ貰えばいいんだ、こういう人ね、はっきり言って。誰とは言いません。それと、いう人がたぶんこの中にいるんじゃないですか。先程、この会が始まる前に、司会者の人に所長なり、副所長なり今日いるんですか、責任取れる人いるんですかと聞いたら、いませんって言うんですよ。はっきり言って給料泥棒。これが現実だと思うんですよ。それで司会者の人が、どうするんですかと問い詰めても、何も答えも出ない。部下なりと相談して何か出るのかと思っても、それもしない。これがお役人世界。お役人世界では、我々生きられないんですよ。生活あるんですから。たぶんこたえてるんでしょうね、これだけ言われちゃ。分かんないよ、言われたっていいかげんで、のりくらしとやるのが役人だから。

まあ、別の話しますけど、■■■の問題だとか、ごまくそ、ごまくそやっつていまつづれそうな状態ですよ。それからその前は、■■の■■■さん。ごまくそ、誰かが仕掛けた人がいて、その人が死んじゃった。死んじゃったから、最後はわからない。■■■さんだけが被害者で、あの人は可哀想な人。一生終わりだよ。そういうのを全部やっているのがお役所だと思っていますから私。私は農家だけれどもそう思うんですよ。どうにか最終的にはなんのかなと思うと、そういうことです。思います。たぶんこれが記録に残ったらこれは大変なことだよ。俺は思うよこういうのは。

それから話変わりますけども、水害のことで、私も先ほど言ったように大形橋から下流に向かって行ったら、水位測定だか何か知らない、知りませんが、国土交通省の車がありまして測定かなんかやっていました。それでそれをやっていたということは、結局は流量測定だとか、流速だとか、まあ雨量だとか知りませんが、そういうことをやって、それを本庁に上げて、本庁とたぶん今だから携帯なりデータで送って、常に計算をしたりなんかして、データは残っているんでしょう、私はわかりません。そうだと思うんですよ。ですからそう言うまあ最終的にはそう言う生データを教えて貰いたいと思うのね。そうすれば皆さん納得するでしょ。どこで何mm降って、どれだけの流量があって、だからどこの何月何日の何時何分には何mの水位があった。それから10分後には10cm増えちゃった。それを全部データ出して貰って、それを検討して、だから切れたんならしょうが無いんだなという話になると思うんですね。ですからそういうことを出して欲しいんだけど、たぶん出さないかもしれない。自分の都合が悪い

から。困っちゃうもんね、自分ら矛盾が出ちゃうから全部。たぶん出さないと思うんだよねこんでね。でも私、最後にはお願いします。それからその他に水量測定と、それからそれをたぶん、私分かんないんですけど、私の考えでは、いろんなデータを関東地方整備局の方の大宮なり何なりでデータを集計していて、か、何処で集計しているか知りません。ですけど集計している所があって、それに基づいてたぶん大宮の関東地方整備局ですねそこに行って、それから、本来はですね、ダムの流量調整するだとか何かの方法をやって治水をするのが当たり前だと思うんです。個々は全部間違っていないことをしている、だけれども全体をまとめている所が無かったんじゃないか、こういうふうには私は指摘したいと思います。やってると思う、まあ今回返事がないから分かんないんですね。やってたかどうかも分かんないんですよ。これ課程の問題ですからね。だから、そういう風にやっててフィードバックがあれば、治水はできるはずだと思うんです。例えば雨が降る予想があれば、早く下流に水を流すとか、下流に雨が降ってたら上流の流量を少なくするとか、方法はフィードバックがあればできるはずですよ。フィードバックがされていないんじゃないかなと思います。

それから、今ですから、この間の三坂決壊の反対側の所に行きましたら、国土交通省の施設が篠山なんとかっていう所があるんですね。そこにテレビカメラがありました。それから若宮戸の反対側の上流にも、ちゃんと棒が出ている所がありますから、たぶんテレビカメラがあると思います。ですから、全部そういうふうに監視していると思うんです。だからそのデータなり映像を実際見せて貰いたい。時間と共に全部たぶん記録あるはずですから。無いってのは、それは、機械が壊れたなんてのは、それはインチキ。インチキですからね、それははっきり言って。隠そうとするから、そうやってやる訳で。全部そういう映像を出して下さい。そうすると、それで皆さんに見て貰いましょうよ。そうすると本当にこれは自然災害なのか、人災なのかかわかると思いますんで。

それからですね、十一面山の所の慰霊塔の所にですね、昭和39年東京オリンピックの時に砂掘ったという話があるんですね。それでその後無堤地区になっちゃってるということを報道はされてません。ほとんど私見たことありません。でもそれが現実だそうです。それもたぶん報道管制でしょう。自分たちの国土交通省のやってたことの無策が現れちゃうんで、たぶんやっているんでしょう。これも明らかにして貰わないと、皆さん困ると思うんです。

まあ、色んな事は言いたいことあるんですが、工事計画についてはあまり私本業ではありませんので、わかりません。わかりませんが、一般論の色んな話をさせて頂きました。ありがとうございました。

※意見については、個人情報保護するとともに、「公述人募集要項」（平成27年12月21日記者発表資料「利根川水系鬼怒川河川整備計画（原案）に対する意見募集の実施及び公聴会の開催について」6. 注意事項④の「個人や特定の企業・団体を誹謗中傷するような内容」）に該当する部分等を無効としています。